

報告事項イ

第1回山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の概要について

第1回山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の概要について、別紙のとおり報告します。

令和元年9月11日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

## 第1回山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の概要について

令和元年9月11日

鳥取県教育センター

### 1 日時

令和元年8月27日（火）午後3時から5時まで

### 2 場所

鳥取県教育センター 第1研修室

### 3 出席者

島根大学教師教育研究センターのセンター長、教授、准教授、特任教授等  
及び鳥取県教育委員会関係各課長等（主管は鳥取県教育センター）

### 4 内容

- (1) 初任者の人材育成に向けての協議
- (2) これまでの連携事業の報告と今後の方向性の意見交換
  - ① 地域の教育力向上プログラムの取組
  - ② 現職教員研修プログラムの取組
  - ③ 「未来の教師」育成プロジェクトの取組
  - ④ スクールインターンシップの現状について
  - ⑤ 鳥取サテライト教室の開設について

### 5 主な意見・提言

<初任者の人材育成に向けて>

- ・立場の違いや訪問するための壁はあっても、シンプルに「良い教員を育てる」ためにお互いに連携・協力して、できる支援、人材育成をしていくのがよい。
- ・初任者研修を担当する立場として、集合研修だけでなく、普段どおりの日常の様子を見て、実態把握をし、課題や困り感に支援していく必要がある。若手教員のみでなく、ミドル教員や管理職への意識付けや校内体制の整備についても指導したい。
- ・各教育局や市町村教育委員会の計画訪問・要請訪問と、教育センターの強みを生かした支援のための学校訪問をすみ分けし、訪問の意味の違いを考えないと、学校の負担が増してしまい、せっかくの新たな取組が台無しになる。互いに情報を共有し合いながら、相談しつつ進めていきたい。

<地域の教育力向上プログラムの取組>

- ・島根大学と鳥取県教育委員会が連携してこのような事業を行うことで、大学の知見を生かした助言や指導ができ、説得力が増す。

<現職教員研修プログラムの取組>

- ・学校魅力化だけでなく学校組織マネジメントを中心とした管理職育成の視点も残しながら、地域の核となる教員の人選、派遣を行い、人材育成につなげたい。

### 6 今後の予定

- ・11月の二者協議会で取組の報告・提案をする。
- ・第2回協議会は来年度5月頃を目標に、日程調整して開催する。